

井 堀 利 宏 教授

役 職 : Public Finance Program Director

専門分野 : 財政学、公共経済学

学 位 : Ph.D. (経済学)、ジョンズ・ホプキンス大学

略 歴 : 1952年岡山県生まれ。1974年東京大学経済学部卒業、1981年ジョンズ・ホプキンス大学大学院経済学博士課程修了 (Ph.D.取得)。東京都立大学経済学部助教授、大阪大学経済学部助教授、東京大学経済学部助教授、1995年同教授を経て、1997年から同大学院経済学研究科教授、2015年に同名誉教授。同年4月より現職。

1. 業 績 (A)

(1) 図 書

① 単 著

- * *Principles of Public Finance*, 403 pages, Springer, 2016/12. ISBN: 978-981-10-2388-0 / ISBN: 978-981-10-2389-7 (eBook), DOI: 10.1007/978-981-10-2389-7
- * 『経済政策』(新経済学ライブラリ 14) 全 271 頁、新世社、2017 年 2 月。ISBN: 4-88384-055-7
- * 『コンパクト経済学 第 2 版』(コンパクト経済学ライブラリ 1) 全 199 頁、新世社、2017 年 2 月。ISBN: 978-4-88384-252-0
- * 『【図解】大学 4 年間の経済学が 10 時間でざっと学べる』全 96 頁、KODOKAWA、2016 年 8 月。ISBN: 978-4-04-601754-3

② 編・共著等

- * 『政治経済学で読み解く政府の行動: アベノミクスの理論分析』小西秀樹と共著、全 313 頁、木鐸社、2016 年 9 月。ISBN-13: 978-4833224956
- * 『大学 4 年間の経済学がマンガでざっと学べる』カツヤマケイコと共著、全 239 頁、KADOKAWA、2016 年 12 月。ISBN: 978-4-04-601720-8

(2) 学会発表

- * “Flexibility of Deficit Ceiling and Income Fluctuation in a Political Economy,” Annual Meeting of the European Public Choice Society (ヨーロッパ公共選択学会), University of Freiburg, Germany, April 2, 2016.
- * “Flexibility of Deficit Ceiling and Income Fluctuation in a Political Economy: revised version,” 72nd Annual Congress of the International Institute of Public Finance (国際財政学会), Lake Tahoe, Nevada, August 10, 2016.
- * “International Security and Misperceptions about Threat and Economic Growth,” 2016 Annual Australasian Public Choice Conference (オーストラリア公共選択学会), Australian National University, December 9, 2016.
- * “National Emergency, Security Spending, and Growth,” The 54th Annual Meetings of the Public Choice Society (アメリカ公共選択学会), New Orleans, March 4, 2017.

(3) その他 (雑誌論文近刊)

- * “Altruism, Liquidity Constraint, and Investment in Education” with K. Kamada, T. Sato,

2. 業績 (B)

(1) 書評・解説等

- * 週刊『エコノミスト』書評
 - 『日本経済の持続的成長 エビデンスに基づく政策提言』藤田昌久編 (東京大学出版会)、7月5日号
 - 『税金考 ゆがむ日本』日本経済新聞社編 (日本経済新聞出版社)、9月27日号
 - 『経済学者 日本の最貧困地域に挑む あいりん改革 3年8カ月の全記録』鈴木亘著 (東洋経済新報社) 12月13日号
 - 『移民の経済学』ベンジャミン・パウエル編著 (東洋経済新報社)、2月21日号

3. 助成金等による研究

- * 科研費 (基盤研究 A : 15H01952) 「財政制度におけるミクロとマクロの政治経済分析」(2015-2017年度) 研究代表者
- * 科研費 (基盤研究 B : 26285054) 「世界における経済活動の都市集積に関する空間経済分析」(2014-2017年度) 研究分担者

4. 教育

(1) 講義

- * 財政政策 (秋学期)
- * Public Sector in Japan (2016 Fall)
- * Public Finance (2016/17 Winter)

(2) 演習

- * Workshop in Public Finance

(3) 論文指導

- * 公共政策プログラム : 修士課程 1名 (副指導、学位取得)
- * Public Finance Program : 修士課程 1名 (主指導、学位取得)

(4) その他

- * Ph.D. Candidate Seminar, May 30.

5. 管理・運営への関与

(1) 委員会

- * Public Finance Program Committee
- * 修士課程委員会

6. 社会的貢献 (A)

(1) 国および地方公共団体における活動

- ① 審議会等
 - * 財政制度等審議会委員 (財務省)

- * 財務省財務総合政策研究所特別研究官
- (2) 他大学・研究所等における活動
 - ① 非常勤講師, 研究員等
 - * 税務大学校客員教授
 - ② 委員会等
 - * 下級裁判所裁判官指名諮問委員会委員 (最高裁判所)
 - * 裁判の迅速化に係る検証に関する検討会委員 (最高裁判所)
- (3) 学会等における活動
 - * 以下の学術専門誌にて、論文のレフェリーを数多くこなした
 - Associate editor: *Defense and Peace Economics*
 - Associate editor: *International Tax and Public Finance*
 - Associate editor: *International Journal of Economic Theory*
 - Associate editor: *Economics of Governance*
 - Associate editor: *Finanz Archiv*
 - Associate editor: *European Journal of Political Economy*
 - 『会計検査研究』(会計検査院: 編集委員)
 - 『フィナンシャル・レビュー』(財務総合政策研究所: 編集委員)
 - 『経済分析』(内閣府: 編集委員)

7. 社会的貢献 (B)

- (1) ジャーナリズムを通じた発言
 - ① 印刷メディア (新聞, 雑誌等)
 - * 「アベノミクスの政治経済学—抜本的改革の提案」『経済同友』No.787 p.26 2016年4月
 - * 「「世代別選挙区」導入で「現役・将来世代」中心の政治へ 社会保障格差を解消する世代別選挙区」『リベラルタイム』16巻7号、2016年7月
 - * 「消費増税延期と財政信認 (上) —将来世代への責任果たせ」日本経済新聞、2016年6月24日
 - * 「我が国財政の現状と税財政改革の方向性」『証券レビュー』57巻3号 51–105頁、2017年3月
 - ② 電波メディア (テレビ, ラジオ等)
 - * 出演: BS フジ「プライムニュース」「年金制度の課題と改革 100年安心の落とし穴」、2016年9月19日
 - ③ 講演会, 座談会, 会議出席
 - * 講演: 「財政再建の政治経済学: 抜本的改革の提案」、経済倶楽部、2016年6月10日
 - * 講義: 「財政再建の政治経済学: 抜本的改革の提案」、三鷹市民大学「経済コース」、2016年6月25日
 - * 講演: 「世代会計の視点から見たわが国の財政再建: 財政・社会保障改革に向けて」、関西経済同友会、2016年9月13日
 - * 講演: 「我が国財政の現状と税財政改革の方向性」、中部経済同友会「財政・金融問題委員会主催講演会」、2017年1月27日